



# いいもの成らせるさくらんぼ便り

vol. 8 暖冬予報だがドカ雪の可能性あり。越冬対策を万全に！

## 1 野ネズミ対策

特に苗木・幼木(アオハザクラ台)は万全な対策を！

### (1) 苗木・幼木の保護

- ・地際～地上1mまで 金網で覆う(消雪後に外す)
- ・冬期間は、金網が見える程度まで雪を掘り上げておく

### (2) 野ネズミが住みにくい環境を作ろう

【対策1】隠れる場所を作らない

園地除草、マルチ・敷きわら等の除去

【対策2】果実残さ等エサになるものを置かない

隣接するりんご園等の果実残さも取り除く



【金網設置の様子】

### (3) 野ネズミの密度を下げよう(根雪前までに実施)

- ・殺そ剤は遅効性の剤を数回に分けて使用(即効性は警戒される)
- ※薬剤の使用にあたっては使用量、使用方法を遵守すること
- ・作業時は人工的な臭いが付かないよう、手袋を着用

【対策1】巣穴に殺そ剤・毒エサを投入する方法

◇ 現在、野ネズミが出入りしている「生き穴」に投入

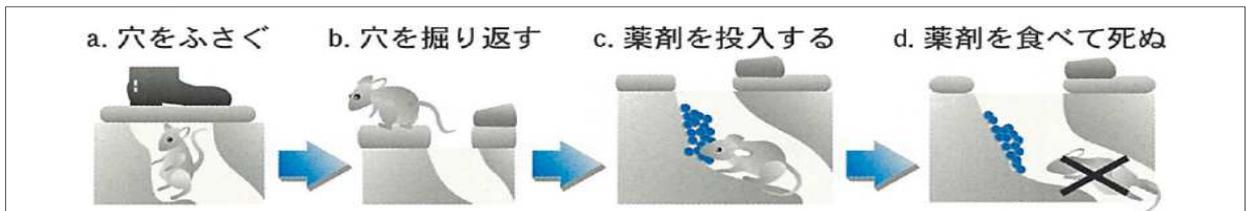
※「生き穴」の確認方法：

前日に穴を埋めて、翌日開いているのが「生き穴」



【生き穴の特徴】

- ・穴がきれい
- ・入口周りに草がない



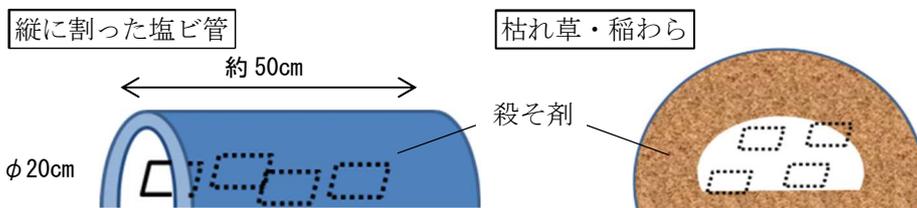
ネズミ防除要覧(大塚薬品工業株式会社)より引用

【対策2】餌場を作って殺そ剤を設置する方法

◇ 餌場の設置：雨の当たらない暗所

縦に割った塩ビ管、古タイヤ、枯れ草・稲わらなど

◇ 餌場の間隔：4個/10a程度(樹からある程度離す)



裏面に続く

## 2 休眠期防除

- ・樹脂細菌病、褐色せん孔病対策として、I Cボルドー66D 40倍を落葉後、丁寧に散布
- ・コスカシバ対策として、ラビキラー乳剤 200倍を落葉後に樹幹及び主枝に散布
- ・カイガラムシ類対策として、寄生された枝の剪除、ブラシ掛けを実施

## 3 雪害対策

初冬の雪は、水分が多く重いので注意  
降雪前、積雪後の対策で被害の軽減を！

### (1) 降雪前の対策

#### ① 樹体被害の回避

- ・主枝等の大枝に支柱を設置  
(まっすぐ立て、外れないように結束)
- ・降雪前に、混みあっている不要な枝や徒長枝を間引く「粗剪定」を実施  
(多雪地域や山間部では可能な限り実施)

#### ② 施設被害の回避

- ・雨樋の下に支柱が無い施設は、補助支柱を追加し補強  
(積雪の多い地域は、さらに雨樋の下に支柱を追加)

### (2) 積雪後の対策

#### ① 雪下ろしと枝の掘り上げ

- ・大雪時は速やかに樹や施設の雪を下ろす

こんな部分は要注意！

樹 : 大枝や分岐部

施設 : 雨樋やパイプの交差部

- ・埋もれた枝は、雪の沈降前に掘り上げる

#### ② 融雪剤の散布

- ・散布量 40kg/10a程度
- ・散布時期は、積雪ピーク後の2月下旬以降  
(多雪年は1月下旬頃から随時実施)  
降雪で融雪剤が見えなくなったら再散布
- ・散布場所は樹冠下中心(幹周りが効果高い)



苗木や若木は支柱を立て、横枝もまとめて結束

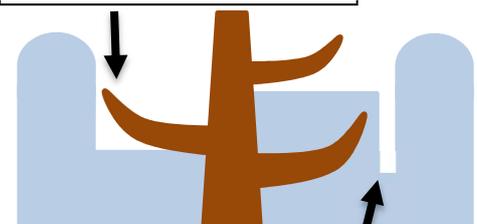


ハウズバンドや防鳥ネットは外すかまとめる



雨樋に積もった大きな雪塊は速やかに下ろす

埋もれた枝は掘り上げる



枝の掘り上げが困難な場合は周りに溝を掘る